



2019年3月12日

各位

会社名 株式会社クロスフォー
 代表者 代表取締役社長 土橋 秀位
 (コード番号:7810 東証JASDAQ)
 問合せ先 取締役管理本部長 山口 毅
 (TEL.057-008-9640)

**2019年7月期 第2四半期(累計)業績予想の修正、通期業績予想の修正、
 期末配当予想の修正及び役員報酬の一部減額に関するお知らせ**

最近の業績動向等を踏まえ、2018年9月14日付で公表した2019年7月期 第2四半期(累計)業績予想及び通期業績予想を下記のとおりに修正いたしましたのでお知らせいたします。

併せて業績予想の修正に伴う期末配当予想の修正及び役員報酬の一部減額を決定いたしましたのでお知らせいたします。

株主、投資家を始めとする関係者の皆さまには、多大なるご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを心からお詫び申し上げます。

記

1. 第2四半期(累計)業績予想の修正

2019年7月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2018年8月1日～2019年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,379	247	241	152	9.13
今回修正予想(B)	1,880	143	128	68	4.07
増減額(B-A)	△499	△103	△112	△84	
増減率(%)	△21.0	△42.0	△46.6	△55.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年7月期第2四半期)	2,225	47	38	5	0.33

(注) 当社は、2018年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2018年7月期第2四半期(累計)連結業績の1株当たり四半期純利益については、2018年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2019年7月期第2四半期(累計)個別業績予想の修正(2018年8月1日～2019年1月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,379	230	141	8.48
今回修正予想(B)	1,873	122	57	3.45
増減額(B-A)	△506	△108	△84	
増減率(%)	△21.3	△46.9	△59.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年7月期第2四半期)	2,193	67	34	2.06

(注) 当社は、2018年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2018年7月期第2四半期(累計)個別業績の1株当たり四半期純利益については、2018年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 通期業績予想の修正

2019年7月期通期連結業績予想数値の修正(2018年8月1日～2019年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,344	350	341	204	12.24
今回修正予想(B)	3,825	157	141	25	1.50
増減額(B-A)	△518	△192	△200	△179	
増減率(%)	△11.9	△55.0	△58.7	△87.8	
(ご参考)前期実績 (2018年7月期)	4,063	234	220	117	7.02

(注)当社は、2018年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2018年7月期通期連結業績の1株当たり当期純利益については、2018年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2019年7月期通期個別業績予想数値の修正(2018年8月1日～2019年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,344	336	198	11.90
今回修正予想(B)	3,796	200	79	4.78
増減額(B-A)	△547	△136	△118	
増減率(%)	△12.6	△40.5	△59.8	
(ご参考)前期実績 (2018年7月期)	4,005	277	173	10.37

(注)当社は、2018年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2018年7月期通期個別業績の1株当たり当期純利益については、2018年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

3. 修正の理由

(1) 上記1.の第2四半期(累計)業績予想について

当社グループでは、当社特許技術である「Dancing Stone」を用いて、各グループ会社において、その独自の技術を利用した国内向けジュエリー・アクセサリー製品の製造販売、海外向けパーツの製造販売を主とした事業を行っております。

海外向けパーツの製造販売に関しては、当社の連結子会社である歌思福珠宝(深セン)有限公司が前々期より事業をスタートし、中国国内市場の開拓、深化に努めております。その結果、海外における売上高は比較的堅調に推移いたしました。国内向け製品販売は、2018年に各地で相次いだ自然災害の影響により売上高は予想を下回りました。当初想定では、自然災害による直接的な被害は限定的であったため、売上高の減少も限定的であると想定しておりましたが、災害後も先行き不安から生じる消費マインドの低下などにより、想定を下回る集客、客単価であったため、当社売上高は減少しました。

加えて、当期に販売を開始したテニスプレスレットに関しましても、生産体制の構築の遅れから、当初想定した生産高を下回って推移しており、その結果、当該製品の売上高に関しても予想を下回りました。

海外におけるパーツ販売の売上高に関しましては、東南アジア向けの売上は増加傾向にあること、中国からの受注が戻ってきていることを要因として、海外全体の売上高は比較的堅調に推移しましたが、インド国内市場の開拓において、新規契約先の確保が見込みを下回る形になり、インド向けパーツ販売は当初計画を下回りました。海外において地域格差が発生する形になっており、国内売上高の減少をカバーするには至りませんでした。

また、各段階利益につきましても、売上高の減少により、前回予想を下回りました。

(2) 上記2.の通期業績予想について

上記(1)の第2四半期(累計)の結果を踏まえ、通期業績予想について見直しを行いました。

売上高につきまして、海外向け製品販売は、東南アジア向けについて、上期と同様に当初計画比において堅調な売上基調の継続を見込んでおりますが、中国向けの販売については、同国の景気減速のリスクから、受注の低下を見込ん

であり、海外における地域格差の影響は増加するものと見込んでおります。また、国内市場における販売低迷は、下期においても継続することが見込まれるため、前回予想を下回る見通しとしております。

各段階利益につきましても、上記売上高の減少要因に加え、海外において開催される展示会に新規出展を計画していることから、それによる費用の増加などにより上記2.の見通しとなりました。

今後の取組みとして、比較的堅調に推移している海外向け販売の更なる拡大を目指し、イスタンブールで開催される展示会、ドバイで開催される展示会など、中東を中心に今まで出展したことのない展示会へ出展するなど、新たな市場の開拓や既存市場の深化に努めてまいります。

また、テニスプレスレットに関しましても生産体制の構築の遅れを4月までに解消する予定であることから、国内、海外の両市場に向けて当該製品の本格的な販売活動を行ってまいります。

4. 配当予想の修正について

(1)2019年7月期期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	0円00銭	2円50銭	2円50銭
今回修正予想	0円00銭	0円30銭	0円30銭
当期実績	—		
前期実績 (2018年7月期)	0円00銭	7円20銭	7円20銭

(2)修正の理由

当社は、将来の事業展開と資本金の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様との長期的な関係を築くためにも継続的な利益還元を実施していくことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、2018年9月14日に年間配当予想を1株当たり2円50銭(期末2円50銭)としておりましたが、配当の継続性を考慮するとともに、本業績予想修正を踏まえ総合的に勘案し、誠に遺憾ながら上記のとおり修正いたします。

5. 役員報酬の減額について

本日開催の取締役会において、業績予想及び配当予想の修正内容を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、下記の通り役員報酬の減額について決議いたしましたのでお知らせします。

記

- (1) 報酬減額の内容
- 代表取締役社長 土橋 秀位 月額報酬の20%を減額
 - 取締役副社長 内藤彰彦 月額報酬の10%を減額

- (2) 報酬減額の対象期間 2019年3月から2019年7月まで

(注)本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な原因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上